

会員各位

## 血糖自己測定（SMBG）の適応拡大について

会員の要望を踏まえ、妊婦の糖代謝異常に対する血糖自己測定（SMBG）適応拡大を交渉してまいりました。

関係各位の協力によりこの度大幅に進歩し、従来の項目に加え、「75gOGTT の基準3点のうち2点以上」、「75gOGTT の基準1点以上かつBMI>25」が認められました。

厚労省との交渉にあたり、数名の会員に協力いただき、試算したところ下記の頻度になります。

### 1) 75gOGTT の基準3点のうち2点以上

厚労科研データ	初期検査：全妊婦の1.7%，中期検査：全妊婦の1.7%
長崎医療センター	中期スクリーニング陽性者の42%（全妊婦の約3%）
府立母子センター	中期検査：全妊婦の2.5%
慶応大データ	中期検査：全妊婦の3.7%

### 2) 75gOGTT の基準1点以上かつBMI>25

厚労科研データ	初期検査：全妊婦の0.7%，中期検査：全妊婦の0.8%
府立母子センター	中期検査：全妊婦の1.2%
慶応大データ	中期検査：全妊婦の1.2%

今後のSMBG使用に当たっては、日本糖尿病・妊娠学会ワークショップのコンセンサス（糖尿病と妊娠15（1）：70-90，2015）にしたがって1日4検を基本に必要な最小限の血糖自己測定（SMBG）実施を目指していただきたく思います。不要な頻回の検査で膨大な費用になれば2年後に削減される可能性がありますので留意ください。

平成28年3月14日

日本糖尿病・妊娠学会  
理事長 平松祐司